

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス グロース		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 17日		R8年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	R8年 2月 24日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに寄り添い、状況に応じて丁寧に関わり、コミュニケーションの時間を大切にしている。	日々の丁寧な関わり方や声かけを大切に、落ち着いて過ごせる環境整備を行っている。	今後も1人ひとりの特性や思いを尊重し、安心して過ごせる関係づくりを継続する。
2	児童の気持ちを尊重しながら、活動や遊びを通してルールや挨拶等の習慣づけの取り組みや個々の特性に応じた支援。	活動内容やルール等を事前に伝え理解を促すとともに、職員も模範を示しながら支援を行っている。また、個別や集団活動も状況に応じて柔軟に対応している。	引き続き安心できる環境の中で社会性の育成を図る。
3	保護者との対話の機会を大切に、情報共有に努めている。	送迎時の対面報告や連絡帳・LINE・電話等を活用し、こまめな連絡・相談対応を行っている。	面談や相談機会の充実を図り、より分かりやすい情報提供に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会への十分な確保。	安全面への配慮や感染症対策、時間・日程調整の制約等により、交流機会が限られている。	日程調整を行いながら、小規模・安全配慮型の交流方法を検討し、段階的に地域交流の機会を拡充する。
2	家族支援プログラムの実施体制が十分に整備されていない。	保護者会やペアレントトレーニングの実施体制が未整備である。	オンラインや少人数開催等の方法も含め、実施体制の整備を検討する。
3	利用ニーズの柔軟な対応。	児童や保護者のニーズが多様化しており、時間帯や活動内容等の要望に対し調整が必要となる場合がある。	児童や保護者のニーズを把握しながら、可能な範囲で柔軟に対応できるよう運営や活動内容の工夫を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス グロース

公表日 R8年 3月 1日

利用児童数 31人

回収数 16人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12		2	2	時間が短いので、もう少し早い送り遅いお迎えをお願いしたい。	関係法令および運営基準に基づき、利用定員や児童の状態に応じた適切な職員配置を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		事業所の支援内容についてご理解いただけるよう、支援プログラムの説明や日々の支援の様子の共有を行っております。今後も分かりやすい情報発信に努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1		児童発達支援計画は職員間で共有し、共通理解のもと計画に沿った支援が行われるよう連携しておりますが、今後とも努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			2	14	特に必要としていないです。	現時点で地域のこども園等との交流活動等は実施しておりませんが、感染症や安全面に配慮し、今後は交流できる機会を検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			6		家族支援プログラムの実施はないが、保護者へは必要に応じて情報提供等行っております。今後は、家族向けの研修や情報提供等の方法について検討し、家族支援の充実に努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1				保護者からの相談等、適宜必要に応じて面談・助言等行っております。相談しやすい雰囲気・環境を整え、早期に支援につなげられるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			1		連絡帳や送迎時に、日頃の様子を保護者へ情報共有等、共通理解を図りながら支援を行っております。今後も丁寧な情報共有が図れるよう努めてまいります。

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3		8	現在は必要としていません。	感染症や安全面の配慮を行い、具体的な会の内容・少人数開催等、実現できるような実施方法を検討していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			3		相談体制を整備し、保護者へ周知した上で、相談や申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応させていただいております。相談しやすい雰囲気・環境を整え、早期に支援につなげられるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			1		児童や保護者との意思疎通に配慮し、わかりやすい伝え方や説明等心掛けてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		2		各種マニュアルを整備し、職員への周知を行っている。また、保護者にもわかりやすいよう資料等の配布・訓練を行っております。定期的な見直しや訓練の継続を行い、万が一に備えられるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		5		BCPを策定し、非常災害を想定した避難などの訓練を定期的実施しております。今後とも定期的な見直しや訓練の継続に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1		大雪や大雨等警報発令時には事前に保護者に周知を行い、安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		事故等発生した場合には、速やかに保護者への連絡・状況説明等させていただいております。今後も万が一に備え、迅速に対応が行えるよう定期的な見直し改善に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15		1		提供時間に加えて宿題をやってくれない時がある。	いただいたご意見を踏まえ、宿題については本人の気持ちや意欲を大切にしながら、取り組みやすい環境づくりや声かけ等の支援を行っております。また、提供時間に関するご意見についても、今後の運営の参考にさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス グロース		公表日		R8年 3月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		関係法令および運営基準に基づき、利用定員や児童の状態に応じた適切な職員配置を行っている。	職員の体調不良による休み等により、学校の送迎が重なってしまうと、フロアで対応する職員も必要となり、大変な時があるため、改善できる範囲で取り組めるよう努めていきたい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		扉はスライド式、段差もほとんどなく、車いすでも通れるようになっている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		適宜清掃や消毒等動いている。また、振替出勤の際には、普段行っていない箇所の清掃を主に実施している。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		特性や状況に応じて落ち着いて過ごせる場所を確保できるよう配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		日々の振り返りや定例会議を通して、目標設定や改善案の検討を行い、職員が広く参画できる体制を整えている。また、全員で意見を出し合いながら、支援の質の向上に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		評価表を通してご意見やご要望を把握し、職員間で共有したうえで、支援内容や業務改善に反映している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		毎日の朝礼や定例会議を通して職員の意見や気付きを共有し、現場の課題解決や業務改善に反映している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	制度として第三者評価は実施していないが、外部経理先による助言や確認を受けながら、運営や業務改善に活かしている。	第三者評価の在り方については、検討しながら客観的な視点も取り入れられる体制づくりを進めていきたい。
適切な支援	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		法令で定められた研修や受講機を確保するとともに、必要に応じて資格取得や職員の質の向上に努めている。	研修等で得た知識や技術を現場でもより発揮できるよう、共有や振り返り等の機会を充実させていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		個別支援計画に基づいて支援プログラムを作成し、月間の活動予定表等を通して保護者へ公表している。また、児童の状況に応じて随時見直しを行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		契約時や定期面談時にアセスメントを実施、児童や保護者のニーズや課題を把握した上で、児童発達支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員間でも情報共有し、共通理解のもとで児童の最善の利益を考慮しながら児童発達支援計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		放課後等デイサービス計画は職員間で共有し、共通理解のもと計画に沿った支援が行われるよう連携している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		日々の行動観察を行いながら、活動日誌を活用し、適応行動の状況を多角的に把握している。	より特性の理解やアセスメントに使いやすいものがあれば改善していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		必要な項目と具体的な支援内容を設定した計画を作成している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		活動プログラムは職員間で情報共有しながら、児童の状況や成長段階を踏まえながら立案している。		

療 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		継続しているものもあるが、児童が興味を持てるよう内容の見直しや、新しい活動も取り入れる等、マンネリ化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の状況に応じて、個別と集団活動とそれぞれ組み合わせ、計画に沿った支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に来所予定の児童の状況や活動内容、職員の役割分担等を話し合い連携している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後は活動記録や片付け、翌日の準備を簡単に行い、翌日の朝礼時にて前日の様子や共有事項等を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		児童一人ひとりの活動記録を残している。また、内容によっては、検証・改善に活かしている。	記録内容をより効果的に共有し、支援の質の向上につなげられるよう努めたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、振り返り等行いながら児童発達支援計画の見直しを行っている。	より効果的な見直しができるようモニタリング内容に工夫をしていけるよう努めたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		ガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせ、児童の調教に応じた支援を行っている。	基本活動の視点を今後も全体で意識しながら支援内容の充実に努めたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		視覚的アプローチ(イラスト・写真等)を活用し、児童自身で選択する工夫を行っている。活動についても無理強いはせず、意思の尊重した支援に努めている。	児童それぞれの発達段階やニーズに応じた自己選択の幅や機会を広げられるよう努めたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との共有等、率先して参加を行い、随時情報共有を行っている。また、共有事項は職員間でも円滑に共有出来るよう努めている。	より丁寧な情報共有ができるよう努めていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の各関係機関とも連携できる体制を整えながら、必要に応じて保護者とも情報共有しながら支援を行っている。	医療機関との連携があまり行っていないため、より具体的な連携体制の確認や強化を図っていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有は随時行っており、適切に連絡・調整を行っている。	学校との連携も今後も継続し、より円滑な情報共有が行われるよう努めたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用していた各関係機関とは、必要に応じて適宜情報共有・連携が行えるよう努めている。	移行期の情報共有がより円滑に行えるよう、日頃より各関係機関と連携が図れるよう努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		憩いが必要な場合については、これまでの支援内容や情報等整理し、次の機関へ円滑に繋がられるよう体制を整えている。	移行支援の具体的な情報摘要内容等、職員間でも共有強化に努めたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターが実施している研修に参加等、関わりを持ちながら支援の質の向上に努めている。	今後は、必要に応じてスーパーバイズや助言等受けられる体制づくりを検討し、連携強化を図りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現時点で地域のこども園等との交流活動等は実施していない。	感染症や安全面に配慮し、今後は交流できる機会を検討していきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		現在、自立支援協議会への継続的な参加は行っていないが、地域の動向や情報共有の機会には関心を持ち、必要に応じて参加できる体制を整えていく。	今後は、地域連携をより深められるよう協議会等への参加について検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時に、日頃の様子を保護者へ情報共有等、共通理解を図りながら支援を行っている。	今後も丁寧な情報共有が図れるよう努めていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援プログラムの実施はないが、保護者へは必要に応じて情報提供等を行っている。	今後は、家族向けの研修や情報提供等の方法について検討し、家族支援の充実に努めていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、支援プログラム、利用者負担等について、契約時や必要に応じて丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス支援計画の作成時には、児童や保護者の移行も確認を行いながら、作成を行っている。	児童の思いもより具体的に汲み取れるように、特性や年齢等に応じた聞き取り方法を工夫できるよう努めていきたい。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後等デイサービス支援計画の説明・確認を保護者と一対一で行い、保護者の同意を得た上で署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの相談等、適宜必要に応じて面談・助言等を行っている。	相談しやすい雰囲気・環境を整え、早期に支援につなげられるよう努めていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	現在は保護者会やきょうだい会等の交流は実施していない。	具体的な会の内容・少人数開催等、実現できるよう実施方法を検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談体制を整備し、保護者へ周知した上で、相談や申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応している。	相談しやすい雰囲気・環境を整え、早期に支援につなげられるよう努めていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のグロース通信や定期的なSNS等で発信を行い、かつどの概要や予定等の情報を保護者へ発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分に留意し、適切に管理・運用を行っている。	職員間での共通認識・意識共有を継続し、個人情報の取り扱い徹底に努めていきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童や保護者との意思疎通に配慮し、わかりやすい伝え方や説明等心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		児童のプライバシーや安全面等優先し、地域住民を招く行事等は実施していない。	地域とのつながりの重要性を踏まえ、安全を確保できる範囲での関わり方を今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、職員への周知を行っている。また、保護者にもわかりやすいよう資料等の配布・訓練を行っている。	定期的な見直しや訓練の継続を行い、万が一に備えられるよう努めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、非常災害を想定した避難などの訓練を定期的実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		健康状況の変化にも対応できるよう、服薬やてんかん発作等の児童には保護者と随時情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者と連携し、食物アレルギーに関する情報共有を行いながら、安全に配慮した対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成、必要な研修や訓練等実施している。また、大雪や大雨等警報発令時には事前に保護者に周知を行い、安全確保に努めて	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		大雪や大雨等警報発令時には事前に保護者に周知を行い、安全確保に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けたお言う欄を検討・実施を行っている。	記録の徹底と振り返り等継続し、事故を未然に防げるよう努めていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する外部研修や内部研修の機会を設け、適切に対応できる体制を整えている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、該当する児童はいないが、身体拘束がやむを得ず必要な場合には、慎重に話し合い等を行った上で判断し、事前に保護者へ説明・同意を得た上で児童発達支援計画に記載する体制を整えている。	今後も、身体拘束に頼らない支援を基本として、予防的な支援を充実できるよう努めていきたい。	